

ちょっと古めかしい

ゆかりの埋蔵文化財

①大塚遺跡（現八田御勤使南工業団地）



遺跡の中央を流れ込む古流路の南北に、古墳時代前期と奈良・平安時代の住居跡が発見されています。古墳時代の住居跡からは豊、高環など大量の土器が出土しました。

出土した豊と高環
(古墳時代前期)

②野牛島西ノ久保遺跡（現八田御勤使南工業団地）

西に大塚遺跡、南に野牛島・大塚遺跡、東に石橋北岸敷遺跡に面された遺跡。古墳時代前期や奈良・平安時代、中世の集落跡、道路内の小さな谷のどちらから出土する可能性が指摘されています。また、これまでの遺構として、平安時代の炭焼き窯や鉄と銅が鋳造された土坑墓、中世の道路跡なども発見されています。



炭焼き窯跡

土坑墓と削開された和鉢



失敗作?の須恵器大甕



コラム Column

能蔵池の赤牛

昔々、野牛島に結婚を束ねたカツルがいました。結婚式でせりあがりましたが、二人とも寂しく、村の人たちに料理をふるましたため立派なお祝いやお膳を用意できませんでした。二人は能蔵池の畔、赤牛さまに貸して貰ったと喜び、それからいろいろな村の人たちが赤牛さまからお祝いやお膳を借りるようになりました。しかし、ある時お祝い返さない村人がありました。怒った赤牛さまは甘利山の噴火口、その後千頭山の大噴火で移り住んでしまいました。

里崎でもこれで似た赤牛の伝説が伝えられています。橋の主であるみちがわの子の水を池に放しました。怒った領主は池を閉め立てます。みちがわ牛に変化して水池に逃げます。さすがに能蔵池へ逃れた後赤牛は行方不明になりました。

この二つの話の舞台となる三つの池はかつて「雨乞いの祈り」が行われられた場所です。古くは牛や馬(馬鹿)の犠牲を捧げられることもありました。二つの物語を聞く者は「雨乞い」にありがとうございます。

平成23年度史跡等及び埋蔵文化財公開活用補助事業
南アルプス市教委員会 文化財課

☎055-282-7269

古の人々も河川によって造られた地形を上手に利用していました。
遺跡の立地をみるとその生活は川とともにあったことがうかがえます。

③石橋北岸敷遺跡（現甲西バイパス・中部横断道）

奈良・平安時代の集落および中世の集落、墓域跡。道路の北側には、大塚遺跡から続く御勤使川の古い古流路跡が見られます。

古流路（健食時代）
西側に溝が掘られている。

⑤立石下遺跡（現甲西バイパス・中部横断道）

平安時代の集落跡。13軒の住居跡や炭焼窯が発見されました。



立石下遺跡全貌

⑦仲田遺跡（現甲西バイパス・中部横断道）

大塚遺跡から続く御勤使川の古流路跡にある古流路跡、重要な洪水によつて砂礫で埋められた中世～近世の水田跡が景勝地も発見されました。

⑪百々遺跡（現甲西バイパス・中部横断道）

古代から中世にかけて続いた大集落跡。平安時代の住居跡は250軒を超える。道路の南側は10世紀頃起つた御勤使川南流路の洪水によって被災を受けています。

⑫石積出四番堤（浄水場灌漑構築）

発掘調査によって明治～大正時代の石積出四番堤の一部が発見されました。

石積みの堤体基底底には様子土台、根固めには木工沈床が用いられ、それに川表面には鐵線の鉢巻が並べられていました。

⑭木工沈床（現甲西バイパス・中部横断道）

40軒の家が並んで埋蔵されている。遺跡全体の存在を示す遺物は1000点を越えます。牛の角が出土しました。

⑮鉄錆鉈鑄（現甲西バイパス・中部横断道）

鉄錆鉈鑄（鉄の小刀や鎌）が発見されました。

⑯木工沈床（現甲西バイパス・中部横断道）

木工沈床が発見されました。

⑰鉄錆鉈鑄（現甲西バイパス・中部横断道）

鉄錆鉈鑄が発見されました。

⑲様子土台（現甲西バイパス・中部横断道）

様子土台が発見されました。

④野牛島・大塚遺跡（現市道八田163号線）

平安時代の集落跡。9軒の住居跡が発見された。住居は堅穴式で、カマドが南東側に造られています。

6号住居跡

⑥櫛原・天神遺跡（現八田ふれあい情報館）

平安時代の2軒の住居跡ほか、中世の区画溝が発見されました。

1号住居跡（平安時代）

土器などの石製の支材の上に土器層の厚さを約1メートルほどには有する高さが向山を掘り削て造られています。

⑧徳水・御崎遺跡（現集合住宅・個人住宅）

⑨坂ノ上姥神遺跡（現私立小学校・個人住宅）

⑩百々・上八田遺跡（現農道1号・個人住宅）

御勤使川周辺上に3遺跡（隣接）している。鎌文時代後期や古墳時代後期、奈良・平安時代から中世まで複数の時代に渡る遺跡がある。特に鎌文時代後期の石造石垣の庐の下からタケの骨が発見され、海藻魚を食料とした県内最古級の資料として注目された。奈良・平安時代では多数の住居跡や道路も発見されており、満からうはウマの歯も出土した。

石臼や磨石などの調理具、磨製石斧、石棒など多くの石器が出土しました。

歎息住居（鎌文時代後期）(⑩)

6号住居（鎌文時代後期）(⑩)

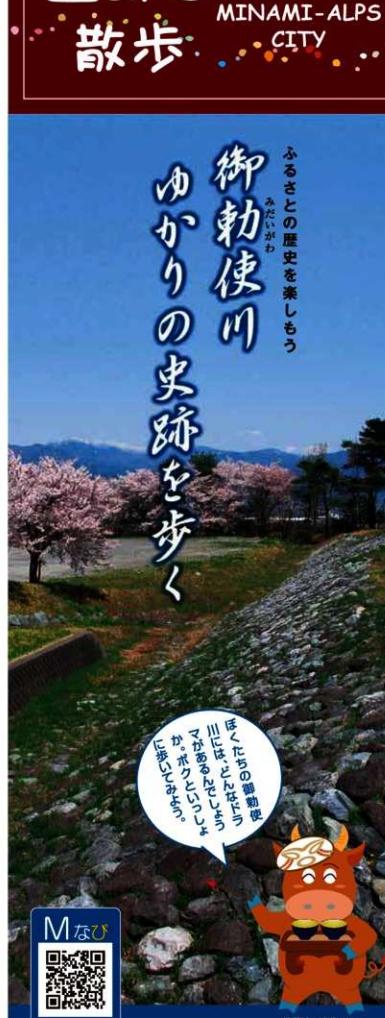
8号住居（鎌文時代後期）(⑩)

遺跡で 散歩

MINAMI-ALPS
CITY

御勤使川 ゆかりの史跡を歩く

みだいがわ
ふるさとの歴史を楽しもう



みだいがわ
御勅使川

ゆかりの史跡を歩く



水宮神社は御勅使川扇状地の扇頂部に
造られた水波能女命を祭神とする水害防
護の神社。大正14年の改修では、有野村
水下の村々からも寄付が集められた。



した堤防で、一番
残されている。
三番)。

田畠や集落、さらに
ある21ヶ村を守つ
た。

1



江戸時代前期の建物。甲府盆地西部では最も古い民家で、徳島堀を完成させた矢崎又右衛門のゆかりの家でもある。矢崎氏は江戸時代を通じ有力農民として有野村の名主を勤めていた。

